

野呂 充

高等司法研究科・教授

[研究]

科研費(研究成果公開促進費)の補助を研究代表者として受けて、共編著『現代行政とネットワーク理論』(法律文化社、2019年)を刊行し、また、同書において論文・翻訳を公表した。その他の論文として、「公務員に対する職務命令と行政訴訟」『法の理論と実務の交錯: 共栄法律事務所創立20周年記念論文集』(法律文化社、2018年)を公表した。それ以外では、『明解行政手続の手引』(加除式)の新規項目の執筆、室井力ほか編『コンメンタール行政法 I 行政手続法・行政不服審査法(第3版)』(日本評論社、2018年)の分担執筆部分の改訂などがあった。

[教育]

春～夏学期に、法科大学院において、「行政法応用2E・F」、「公法総合演習」、特殊講義A「政策実践と法」を担当した。「政策実践と法」および地方公共団体へのインターンシップを中心とするパブリック法曹養成プログラムが、前年度に引き続き、法科大学院公的支援見直し加算プログラムに位置付けられ、加算の対象となった。

第3回日弁連公法系訴訟サマースクールにおいて講師を務めた「行政訴訟における主張構成の方法」の内容が法学セミナー769号で公開された。

秋～冬学期はサバティカルのため授業を担当しなかった。

[管理運営]

春～夏学期において、評価室員および認証評価用自己評価書作成WG長として、法科大学院認証評価受審のための自己評価書作成を担当した。

春～夏学期において、高等司法研究科学習サポート委員会委員長を務めた。

[社会貢献]

- ・日本学術会議連携会員
- ・平成30年度・平成31年度国家公務員採用総合職試験専門試験(記述式)(行政、法律)試験専門委員
- ・大阪府収用委員会委員(会長代行)、吹田市公平委員会委員長、大阪府景観審議会委員
- ・近畿弁護士会連合会弁護士任官適格者選考委員会委員
- ・公務員研修(山口県ひとづくり財団)講師、21世紀懐徳堂 i-spot 講座講師(良好な都市景観の保護・形成のための法制度～日本とドイツの歴史と現在から考える～)
- ・日本・韓国・中国・台湾の主要な行政法研究者が参加する国際学会である東アジア行政法学会の8年ぶり4回目の日本開催となる第13回学術総会(2018年11月24日・25日、千里ライフサイエンスセンター)につき、開催準備全般を担当した。